



第59回 全国高等学校バスケットボール選手権大会

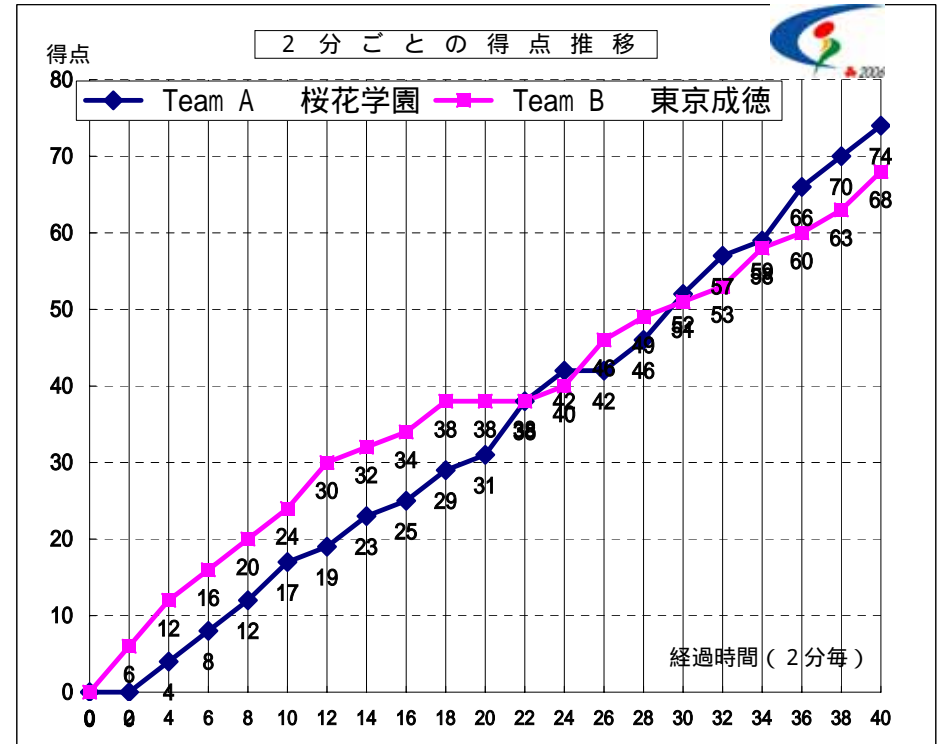
女子 準決勝

試合日 2006年8月6日
 開始時間 10:00
 会場 大阪府立体育会館
 コート Mコート
 試合順 1 試合目

Team A		Team B
桜花学園	74	東京成徳
愛知県	(17 - 24 14 - 14 21 - 13 22 - 17)	東京都

	S	選手名	PTS	3 P		2 P		F T		F	REBOUND			AS	ST	BS	TO	PT
				成功	試投	成功	試投	成功	試投		OR	DR	TOT					
				4	服部 直子	18	0	0	7		15	4	6					
5	和田 静香	5	0	3	2	5	1	2	4	1	5	6	3	5	0	3	20.0	
6	堀川 夏海	4	0	2	2	10	0	0	2	1	4	5	10	2	0	0	40.0	
7	吉田 千沙	20	2	7	6	14	2	2	2	2	4	6	2	3	0	3	40.0	
8	佐藤 詩織	12	0	1	6	10	0	0	1	0	11	11	0	1	0	2	38.0	
9	牛田 悠理	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
10	松村 沙也加	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
11	深野 羅定咲	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
12	小泉 遥	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
13	木林 稚栄	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
14	後藤 彩	10	0	0	5	11	0	0	0	4	1	5	1	2	0	2	22.0	
15	高田 真希	5	0	0	1	2	3	3	1	3	0	3	1	0	3	0	9.0	
16		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
17		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
18		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
Team / Coach:									0	2	5	7					0	
合計			74	2	13	29	67	10	13	14	16	32	48	19	13	3	10	200
RATE			15.4%	43.3%	76.9%													

Team B 東京成徳		PTS	3 P		2 P		F T		F	REBOUND			AS	ST	BS	TO	PT	
S	選手名		成功	試投	成功	試投	成功	試投		OR	DR	TOT						
4	有山 景子		14	4	11	1	7	0		0	1	1						6
5	石川 聖菜	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
6	山田 菜美	13	1	2	5	12	0	2	4	0	4	4	2	0	1	1	40.0	
7	天野 佳代子	8	0	0	3	6	2	2	4	1	2	3	0	0	0	1	23.5	
8	川村 美穂	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	1.5	
9	板坂 優貴	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
10	本田 雅衣	10	0	1	4	5	2	3	2	0	9	9	2	3	1	1	38.5	
11	光山 慈能	15	0	2	7	15	1	2	1	3	3	6	2	2	1	3	40.0	
12	富田 夕貴	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
13	間宮 佑圭	8	0	0	4	9	0	0	4	3	2	5	0	0	1	4	16.5	
14	田尻 泰葉	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
15	水野 圭子	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
16		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
17		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
18		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
Team / Coach:									0	3	6	9					0	
合計			68	5	17	24	54	5	9	16	11	33	44	12	6	4	13	200
RATE			29.4%	44.4%	55.6%													



CTO	1・2P	3・4P	OT1	OT2	OT3	OT4
TeamA	3:12					
TeamB	17:20	22:41	36:34			

タイムアウトは経過時間で表示しています

戦評

連覇を狙う東京成徳。激戦東海大会を制した桜花学園の対戦。1点を争う最後まで目の離せない展開となったが、終盤スピードで突き放した桜花学園が決勝へ。第1P、東京成徳は順調な立ち上がり、特に#13間宮の活躍で2対10としたところで桜花学園タイムアウト。「足が止まっている、走れ！」と激がとぶ。両チーム共にハーフコートマンツーマンで速攻を止め、インサイド勝負となる。終盤両チーム共にミスがあり、17対24とわずかに東京成徳のリード。ファウルを誘うプレイで東京成徳はフリースローを高確率で決め、リードを広げ、特に#11光山が能力の高いプレイを見せる。また桜花学園#4服部を前半8分に抑え、苦しめる。桜花学園は#8佐藤のスピードあるドライブなどで食らいつく。第2Pは14対14イーブンの得点で後半へ(31対38)。第3P、桜花学園#7吉田の連続ゴールで3分38対38と追いつく。東京成徳後半1回目のタイムアウト。その後お互いやり合いの中残り5分、桜花学園が逆転すると東京成徳は#4有山の3Pなどで応戦。一進一退の試合となり第3P終了。51対52、わずか1点桜花学園のリードで最終ピリオドへ。両チーム共に終始ハーフコートマンツーマンで東京成徳#4有山、桜花学園#14後藤#15高田の下級生インサイドが活躍。残り5分、桜花学園#4服部がコートにもどり一気に流れを掴む。服部自身もリング下、オフェンスリバウンド、裏の合わせと得点を重ねる。東京成徳のボール運びでのミスが痛い。最後ゾーンプレスで仕掛けるが、シュートが入らずゲームセット。68対74で桜花学園女王復権なるか。明日の決勝が楽しみである。

主審	安元 正彦	副審	梅本 哲三	戦評	楠本和生
----	-------	----	-------	----	------

記録 東大阪市立日新高等学校バスケットボール部